

大川原

ライフ

LIFE¹⁶

2021年1月

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町ふるさと未来会議 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

新人職員に聞いてみた その④



あけましておめでとうございます
今年も大川原LIFEをよろしくお願いいたします



今月は環境対策課の新人職員、梅田周克さん(28歳)を紹介します。図書館近くのスーパー「梅田商店」でよく買い物をしたというかたも多いのではないのでしょうか!?! 震災時は関東の大学に通っていた梅田さん。地元の被災を知り「ここで勉強している場合ではないのでは」と、退学を決めてきたそうです。自分にできることは何か模索するなか、町が募集していた復興支援員に応募。その後町の臨時職員を経験し、正職員になることを決意しました。「臨時でいたときと仕事の量が全然違います。毎日が勉強です。」



実家が梅田商店です!

弟さんはいちご栽培施設「ネクスファームおおくま」に勤めているそう。大川原でがんばる兄弟。素敵です



佐藤

実際に放水もします!



訓練も引きつけて!

災害から地域を守る



町の消防団にも加入している梅田さん。この日は若手職員による消防活動の訓練日。町内で火災が起きた際に迅速に対応しなくてはならないため、みんな真剣です! 「消防隊員が到着するまでの初期対応は被害を抑える上でとても重要なんです」とのこと。消防団は災害があった時に出動するだけでなく、定期的に町内パトロールや消防設備の点検などを行い暮らしの安心安全を守っています。

密を避けて。距離を取りつつアドバイス。



と嬉しい!

でも楽しい!!

フオ。ブオ。♪

2回目の練習で音程、音階を吹き分けるセンスの良さを見せる人も。♪

「くちびるの形を変えています。高い音はうーんと糸回く」なんてできるのー??

素人は、音が出ただけで大喜び。腹の底から息を吹き入れる感じ…。体に良さそうな気がします。でも高い音は出ないー。

消防の

ラッパ隊

はじめましたよ!



梅田くんが活躍する町の消防団。検閲式などで演奏する団のラッパ隊が、メンバーを大幅刷新♪というわけで、新隊員の練習が始まりました。



先輩方が教えてくれました♪



標準の消防ラッパ

大川原ライフのメンバーも加入。初めて見る消防ラッパには、あれ?音程を変える指のボタンみたいなのが、ありません!!

なんと、ド、ミ、ソの3音を息の入れ方で吹き分け、メロディーを奏でるんだそう。果たして、吹けるようになるでしょうか? とうご期待♪

渡された楽譜はなんと、13曲分!! 譜面が読める人ばかりじゃないので、耳で覚えます。毎週水曜の夜が練習日に設定されました。道のりはながそう〜。♪



くちびるが、いたって。